

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-23555

⑬ Int. Cl.³
B 60 S 1/38

識別記号 庁内整理番号
A 8211-3D

⑭ 公開 平成4年(1992)2月26日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 ワイパブレードのジョイント構造

⑯ 実 願 平2-65695

⑰ 出 願 平2(1990)6月21日

⑱ 考 案 者 佐 藤 博 之 神奈川県横浜市戸塚区東俣野町1760番地 自動車電機工業株式会社内

⑲ 考 案 者 石 川 優 神奈川県横浜市戸塚区東俣野町1760番地 自動車電機工業株式会社内

⑳ 出 願 人 自動車電機工業株式会社 神奈川県横浜市戸塚区東俣野町1760番地

㉑ 代 理 人 弁理士 小 塩 豊

㉒ 実用新案登録請求の範囲

ワイパブレードのレバー同士、あるいはブレードラバーを取付けたヨークとレバーとをスペーサを介して連結するワイパブレードのジョイント構造において、前記スペーサに、外側に突出してプライマリレバーもしくはセカンダリレバーに係合し、前記プライマリレバーもしくはセカンダリレバーに係止する第1係合部と、内側に突出してセカンダリレバーもしくはヨークに係合し、前記セカンダリレバーもしくはヨークに係止する第2係合部と、前記両係合部を内外方向に撓ませて前記レバーもしくはヨークとの係合を容易にする可撓部とを設けてなることを特徴とするワイパブレードのジョイント構造。

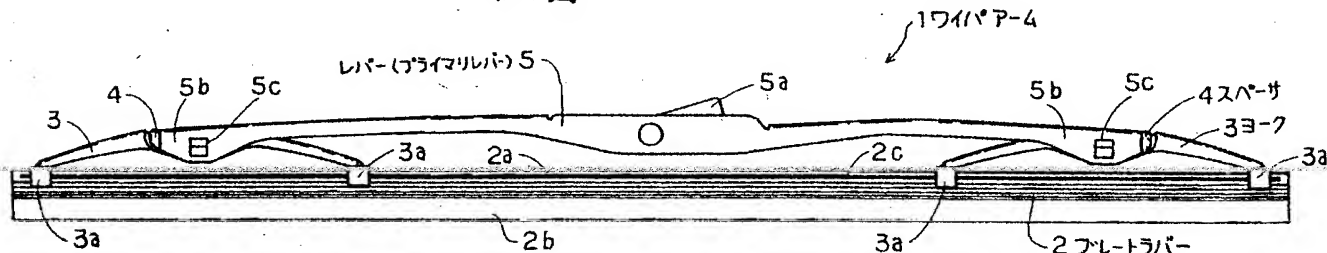
図面の簡単な説明

第1図は本考案に係わるワイパブレードのジョイント構造を適用したワイパブレードの一例を示

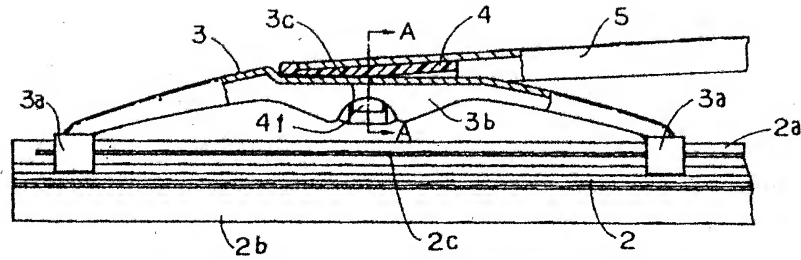
す正面図、第2図は第1図に示したワイパブレードのレバーとヨークとの連結部を示す一部破断拡大図、第3図は第2図のA-A線断面図、第4図a、bおよびcはスペーサの形状を示すそれぞれ平面図、正面図および左側面図、第4図dは第4図bのB-B線断面図、第5図a～eはレバーとスペーサとヨークとの連結手順を説明するそれぞれ断面図、第6図はレバーとスペーサとヨークとの連結関係を示す斜視図、第7図は従来のワイパブレードを示す正面図、第8図および第9図はいずれも従来のワイパブレードにおけるレバーとヨークとのジョイント構造を示す断面図である。

1……ワイパブレード、2……ブレードラバー、3……ヨーク、4……スペーサ、4c……可撓部、4e……第1係合部、4f……第2係合部、5……レバー。

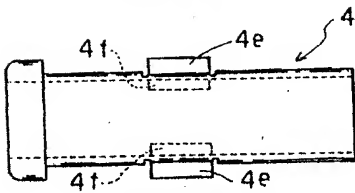
第1図



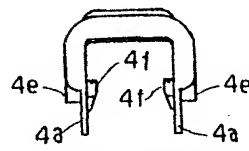
第2図



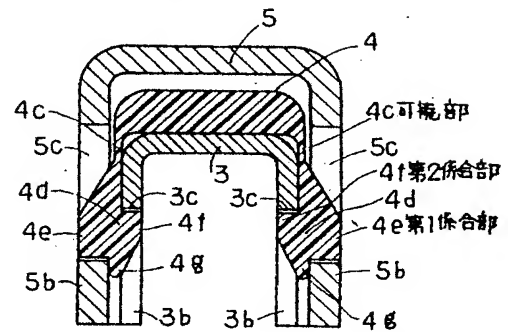
第4図 (a)



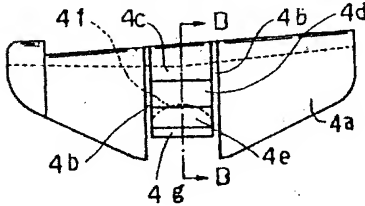
第4図 (c)



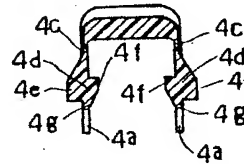
第3図



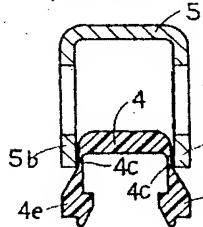
第4図 (b)



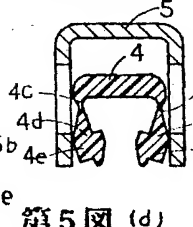
第4図 (d)



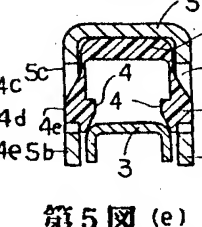
第5図 (a)



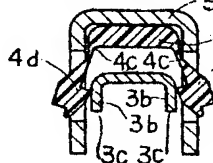
第5図 (b)



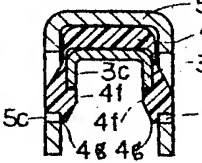
第5図 (c)



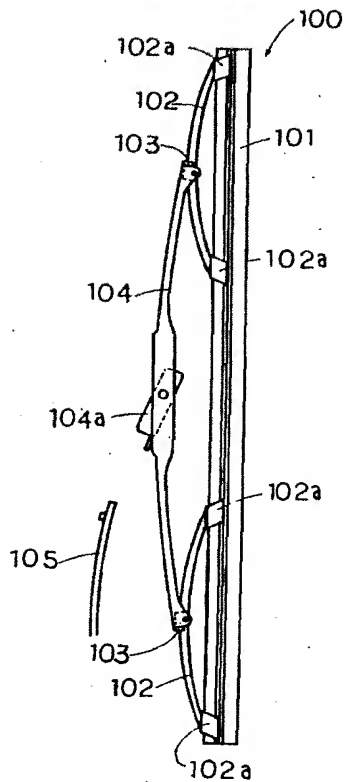
第5図 (d)



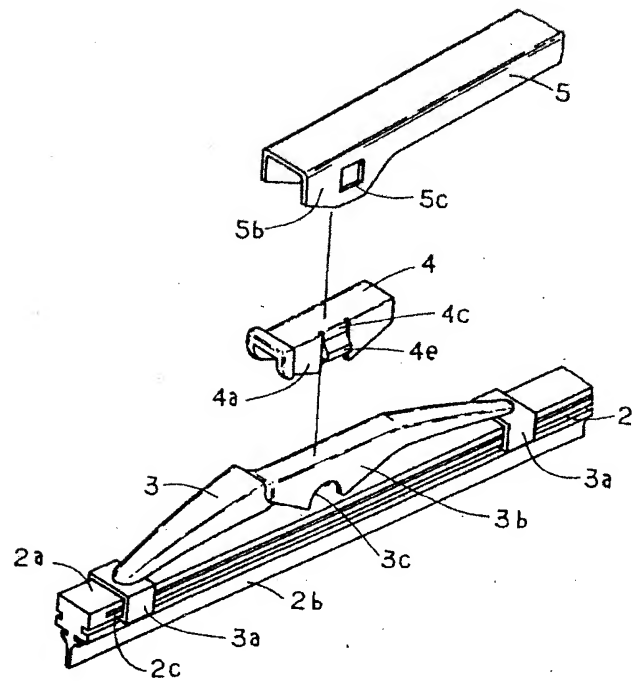
第5図 (e)



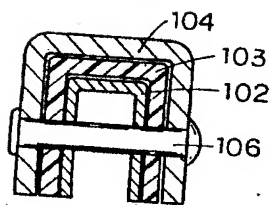
第7図



第6図



第8図



第9図

